



日本汎太平洋東南アジア婦人協会主催 2025年度 総会特別講演会

危機をのりこえる文化伝承と市民教育 —能登半島の災害支援の現場から—

日 時：2025年4月19日(土)15:30～16:30

会 場：武蔵野プレイス4階 フォーラムA 及び オンライン開催

所在地：〒180-0023 武蔵野市境南町2-3-8

JR中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口下車、徒歩1分

講 師：柴田邦臣氏(駒澤大学教授)

★プロフィール

Learning Crisis研究会代表理事およびまなキキ主筆・ディレクター。

専門はソーシャル・インクルージョンで、津田塾大学インクルーシブ教育支援室の創設者。東北大出身ゆえ東日本大震災では長らく災害情報支援を経験。能登半島は駒澤大学のルーツ總持寺祖院がある輪島市に、1月から現在まで繰り返し滞在、特に地域伝承と祭祀の社会的機能から復興支援をめざす。文科省検定教科書『論理国語』(筑摩書房)に採録された主著『〈情弱〉の社会学』(青土社)は能登に言及した新装版が発売中。



☆ 申込 & 問合せ先: norry@cat.email.ne.jp (内藤紀子副会長)

☆ 申込メール記載事項: 氏名(フリガナ)メールアドレス、電話番号、参加方法(対面あるいはオンライン) 参加費: 無料

☆ 申込期限: 4月15日(火)

日本汎太平洋東南アジア婦人協会は、1928年ホノルルで創設され、2028年に100周年を迎えます。汎太平洋と東南アジア地域の女性が、お互いの理解と友情を深め協力し合って社会問題及び女性の問題の研究と改善に努め、世界の平和に寄与することを目的としています。